

令和8年度第1回学校運営協議会

日 時：令和8年5月21日（木） 10:00～12:00

場 所：山梨県立ひばりが丘高等学校 視聴覚室

- (1) 開会の言葉（司会・副校長）
- (2) 学校長あいさつ
- (3) 学校運営協議会委員自己紹介
- (4) 学校運営協議会の運営等に関する要綱について
- (5) 学校運営協議会会長及び副会長選出
- (6) 会長・副会長あいさつ
- (7) 協議（議長：会長）
 - ① 令和8年度学校運営基本方針について（校長）
 - ② 学校評価報告書について（副校長）
 - ③ いじめ防止基本方針について（副校長）
 - ④ その他
- (8) 連絡事項
 - ① 令和8年度年間行事予定について（教務）
 - ② 学校概要および学習指導について（教務）
 - ③ 生徒指導について（生徒指導）
 - ④ 進路指導について（進路指導）
 - ⑤ 教育相談について（保健相談）
 - ⑥ 生徒会活動について（生徒会）
 - ⑦ 通級による指導について（通級）
 - ⑧ その他
- (9) 意見交換
- (10) 閉会の言葉（司会）

※ 今後の予定

第2回学校運営協議会 7月17日（金）

第3回学校運営協議会 1月29日（金）

* 第1回学校運営協議会出席者

● 学校運営協議会委員（順不同）

元ひばりが丘高校校長	内田 大介	様
下宿連合自治会代表	矢崎 政美	様
都留文科大学特任教授	佐藤 比呂二	様
富士吉田市立明見中学校校長	長坂 直人	様
富士吉田市立教育研修所所長	林 龍樹	様
富士吉田商工会議所直前会長	加々美琢也	様
富士吉田市社会福祉協議会事務局長	白須 美行	様
ひばりが丘高校PTA会長	白須 祐香	様
ひばりが丘高校校長	小林 久美	
ひばりが丘高校進路指導主事	坂本 洋子	

●本校関係者（上記の委員を除く）

副校長 教頭 事務長 教務主任 生徒指導主事
保健主事 生徒会主任 通級リーダー

- * 第2回学校運営協議会 令和8年7月17日（金）10:00～12:00
・今回、別紙にてご案内しております。

令和8年度第1回学校運営協議会 議事録

日 時：令和8年5月21日（木）10:00～12:30

場 所：山梨県立ひばりが丘高等学校 視聴覚室

（司会 副校長、記録 教頭）

- (1) 開会の言葉（司会）
- (2) 学校長あいさつ
 - ・今年度の委員をお引き受けいただいたこと、そして、日頃より学校運営へのご理解、ご支援を賜り誠に感謝している。本日の学校運営に関わる事項へのご指導、ご助言をいただきたい。2年間の通級の研究指定校となった。それにつきましても、ご助言、ご指導をいただきたい。
- (3) 学校運営協議会委員自己紹介
- (4) 学校運営協議会の運営等に関する要綱について
 - ・資料のとおり副校長が説明
- (5) 学校運営協議会会長及び副会長選出
 - ・事務局が提案し、委員の皆様の拍手で承認された。

会 長 内田大介 様
副会長 矢崎政美 様
- (6) 会長・副会長あいさつ
- (7) 協議（議長：会長）

会長 学校運営協議会は、「校長の教育目標・ビジョンによる学校運営への助力」、「地域と連携した活動への側面からサポート」、「教職員が教育活動により専念できるよう業務負担軽減への支援」、そして、「1年間の学校活動を振り返る学校評価」の4観点で成り立っていると感じる。そのためにも、学校側の提案、報告が一方通行にならないように建設的な意見をいただきながら、議事を進めていきたい。

① 令和8年度学校運営基本方針について（校長）

- ・「本校の校訓」「令和8年度指導重点」「ひばりのドリカムプラン」について資料をもとに校長が説明。

会長 今回の説明につきまして、何かご意見・ご質問がありましたらお願いしたい。

委員 令和8年度指導重点の2に④の項目を加えた意図は？昨年度、AIドリルのアンケートで課題があったが、それにつながる前段階としてこの項目を追加したのか？

校長 AIドリルについて、8割の生徒が満足というアンケート結果で決して悪い結果ではなかったが、逆に言うと2割の生徒はうまく使いこなせていない状況にあるということで、そこは各教科で使い方を工夫していくということになったが、そもそも学習に対する興味関心がなければ、どんな便利なシステムも活用しようという気持ちにならない。学習意欲を喚起することでAIドリルの活用にもつながるのではないかとこの項目を追加した。

会長 ソフトに関しては県の費用か？

校長 本校はさまざまな団体からご支援をいただいております、家庭の経済的な負担を軽減するためにそのような支援を活用させていただいている。

会長 昨年も同じ質問をし、地域からの支援があるということを伺っていたので、この場でご紹介したくあえて質問させていただいた。

② 学校評価報告書について（副校長）

・資料のとおり副校長が説明

会長 令和7年度学校評価報告、令和8年度の本年度の重点目標について何かありましたらお願いしたい。

委員 先ほど質問させていただいた令和8年度指導重点の2に④の項目を追加を受けて、本年度の重点目標のどこかに反映されているか。

校長 はい、「自己肯定感・自己有用感の育成」の項目の具体的方策の一つ目に反映してある。

会長 学校教育活動の根幹にかかわるところなので、今後ご意見等をお寄せいただきたい。

③ いじめ防止基本方針について（副校長）

・資料のとおり副校長が説明

会長 何か気がかりやご提案等がありますか。

委員 いじめの認知は日頃どのように行っているか？

生徒主事 いじめアンケートを年に3回実施している。また、2ヶ月に一度、研究会を開き、いじめの予兆を共有している。昨年度もいじめ予兆の情報共有が1件あった。それについては即座に入念な聞き取りを行い、その結果、内容的に勘違いがあることが分かり、解決に至った。今後も、いじめの早期発見・早期解決に努めていきたい。

委員 ありがとうございます。日頃の取り組みが聞けて安心した。

会長 他に何かいかがでしょうか。

委員 学校の印象は先生方の目が行き届いている。小さな変化も見逃していない。何かおかしいことがあればすぐにアクションがあり安心感がある。

会長 他に何かいかがでしょうか。

委員 いじめ発見時の緊急対応で生徒たちを守るの具体的な方法は？

生徒主事 いじめた生徒もいじめられた生徒もその後の学校生活がありますので、まずはいじめられた生徒のケアをしっかりとっていくことが重要と考えている。その際には事実確認がとても大切である。事実の整理をしっかりと行った上でケアしていく。いじめた生徒に対しては、行為の背景を見極めながらしっかり話をしながら指導する。いじめられた生徒や通報してくれた生徒ともトラブルが起きないよう重ねて話をする。とにかく、安心安全な学校生活を送れることは教育の重要な目的として捉えている。

会長 トクリュウの問題について、学校として今後の対応は？

生徒主事 闇バイトに関して、社会的にここ数年大きな問題になってきている。長期休みの前には実際の事案を挙げてこの問題に触れながら注意喚起を行っている。一番伝えたいのは簡単に稼げる甘い話はないということ。しっかりとした判断力を持ってほしい。

会長 ありがとうございます。先生方の生徒へのきめ細やかな指導を引き続きお願いしたい。

④ その他

- ・特になし

(8) 連絡事項

① 令和8年度年間行事予定について（教務）

- ・資料のとおり教務主任が説明

② 学校概要および学習指導について（教務）

- ・資料のとおり教務主任が説明

③ 生徒指導について（生徒指導）

- ・資料のとおり生徒指導主事が説明

④ 進路指導について（進路指導）

- ・資料のとおり進路指導主事が説明

⑤ 教育相談について（保健相談）

- ・資料のとおり保健主事が説明

⑥ 生徒会活動について（生徒会）

- ・資料のとおり生徒会主任が説明

⑦ 通級による指導について（通級）

- ・資料のとおり通級担当が説明

⑧ その他

- ・特になし

司会 今回の連絡事項につきまして、何かご質問等はございますでしょうか。

委員 質問。創作活動以外にも、その他の授業、通級の授業の見学をする機会はあるか？

教務主任 10月26日からの第2回授業相互見学において、昨年から一般見学を実施している。今年度もその方向で計画している。

委員 通級による指導について、インターンシップの期間、事前事後指導どんなことを大事にしているか？

通級担当 生徒にとってはインターンシップは憂鬱な行事。前年度の段階で、次年度の予告をし、心の準備ができるようにしている。インターンシップ先も生徒の状況を理解して対応していただけている。社会に出ることとはどういうことなのか、どうすればよいのかなど、社会の様子を知ってもらえることに大きな意味がある。自分にもできたという経験を通して、自己肯定感や自信を持てるようにしてあげたい。生徒をいろいろな場や人とつなげることも学校の大切な役割なので、これからも企業や外部機関との連携を密にして取り組んで行きたい。

委員 インターンシップの期間はどのくらいか？インターンシップ先の職種は生徒の希望で決まるのか？

通級担当 3日～5日間。インターンシップ先の選び方については、希望も考慮するが、自分に何ができるのか・できないのかを知るためや選択肢を広げるためにも希望でない場所も行くこともある。

(9) 意見交換

会長 通級指導、進路指導などの話があったが、出口指導が最重要課題である。学校運営協議会の委員としていろいろな方が参加しているので、ぜひ活用してほしい。

また、夜間中学の郡内への開校はあるのかについてもお聞きしたい。

校長 夜間中学や通信制設置の話はない。

司会 生徒は卒業後は就職したり進学したりする中で、商工会として何かお話いただけることはありますでしょうか。

委員 去年は私も含め3名が夜間部でお話をさせていただいた。ご要望があれば可能な範囲で対応させていただきたい。他の高校の例を挙げると、商工会青年部としてインターンシップや就職活動に協力したり、講師派遣も行っている。中学校でも職業体験等の受け入れなどの協力を行っている。

司会 社会福祉協議会さん、何かお話ありますでしょうか。

委員 生徒へのきめ細かい対応がされていることがよく理解できた。気になるのは、生徒さんの声を聞いている先生方、生徒指導に携わる先生方の精神のケアについて。声を聞く側が健全・健康でないと、相談する側への答えも適切でなくなってしまう可能性がある。先生方の精神のケアに留意しながら今の指導を続けてほしい。

校長 素晴らしい視点でのお話、ありがとうございます。SCや保健室の体制が充実しており、先生方が相談しやすい環境になっている。チームとしての連携がかなりできている。また、県のメンタルヘルス制度も充実している。校長として今後も気をつけていきたい。

委員 商工会青年部や市の事業などでボランティア募集している。校外学習や職業体験として参加していただけるとありがたい。それを通して、生徒さんと企業の方が繋がりを持てる場にもなればと考えてもいるので、ぜひよろしくお願ひしたい。

生徒会主任 積極的に呼びかけていきたい。

委員 この会では毎回良い学びをいただけている。昨年の反省が今年度の学

校の運営方針に反映されていてうれしく思う。進路指導の話の中では、一人一人に丁寧に向き合っている様子が伝わってくる。そして、社会へ出た卒業生が話しに来られる場が学校にあることが素晴らしい。それが大事。自立とは何でも自分一人で頑張ることではなくて、困ったときに人に頼れることも自立。頼れる場であることがひばりが丘高等学校の大きな役割だと思う。社会は厳しいから厳しくするか、明日のために今日を我慢するといった指導は間違った指導である。その子の一生をだめにする。生徒に寄り添うことは甘やかashiではない。「先生方は自分のことを大切にしてくれた」という卒業生の言葉に感銘を受けた。また、そう思えたことが思いやりにもつながる。そして、ここでそう実感できたことが学び直し、生き直しにもなる。話を聞いてもらえて、心を開くことができた経験やそのときの仲間がその後の生活の支えになる、生きる力になる。今日のお話を聞いて、そんなことをあらためて感じさせていただいた。

(10) 閉会の言葉 (司会)